

フィリップス
超音波診断装置「EPIQ Evolution 1.0(エピック・エボリューション1.0)」発売
(2015/4/27)

超音波診断装置のプレミアム*¹機種「EPIQ」は、2013年11月に国内で販売を開始したフィリップスの超音波診断装置のフラグシップ機であり、納入実績は全世界で6500台を超えている。

今回、発売される「EPIQ Evolution 1.0」は、この「EPIQ」を初めて大幅にモデルチェンジした新型装置。

今回のモデルチェンジにより、「EPIQ Evolution 1.0」は、さらなる画質と操作性の向上に加え、新機能の搭載が可能となった。新たに搭載される新技術Auto registration (オート・レジストレーション)*²は、現場の先生方が待ち望んでいた、“真のフュージョン機能”である。従来のマニュアル法と違い、指紋認証と同様のアルゴリズムを用いることで、自動(オート)でCT/MRI/PETと超音波のフュージョンを可能にした。これにより、超音波診断装置と超音波診断装置以外の装置(CT/MRI/PET 装置)の画像のコラボレーションが簡単かつ高精度で可能になり、日常臨床で身近に活用できるツールとなった。様々な領域(肝臓や腎臓などの腹部臓器, 前立腺, 脳血管など)における、超音波ガイド下治療や治療後評価への活用が期待される。



EPIQ Evolution 1.0